

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 四万十市立東中筋小学校		校長	小島 良友	教員数	12	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計		
		道徳教育推進教師	宮地 里佳	4	1		7	1	12	1	15	1	8	1	16	1	62	8			
研究テーマ		「伝え合い、認め合い、ともに高め合う児童の育成」 ～「考え、議論する道徳科」を要として～																			
年度当初の学校の状況(5月調査を記載)		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(2月)		到達目標達成状況							
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上												現状		肯定%			
①道徳の勉強は、すきだ		93.5%		①道徳の学習に対する意識を2ポイント以上向上												①					
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		85.4%		②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている2ポイント以上向上												②					
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている		61.2%		③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている3ポイント以上向上												③					
④自分には、よいところがあると思う		74.1%		④自分には、よいところがあると思う3ポイント以上向上												④					
⑤将来の夢や目標をもっている		95.1%		⑤人が困っているときは、進んで助けている2ポイント以上向上												⑤					
⑥人が困っているときは、進んで助けている		83.8%		⑥地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることが2ポイント向上												⑥					
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあ		91.9%														⑦					
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)												指標達成状況の分析							
取組項目		取組の評価指標				5月～8月				中間評価		9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)				達成状況				年度末評価	
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実		◆校内推進チーム会を持って、進捗管理を行う。(毎月1回以上) ◆各学年の年間指導計画、別業に基づく取り組みの検証(3回以上)をする。 ◆道徳教育推進教師(管理職)が毎週、全学級の道徳科の授業に参画する。				①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年の年間指導計画の作成(5月中旬に提出)をする。 ②道徳教育推進教師(管理職)が全道徳科の授業を参観できる体制の構築をする。 ③授業者と道徳教育推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルを確立し、授業内容や評価について研究、共有する。 ④道徳教育指導者養成研修へ参加する。8月(1名)						①道徳教育全体計画(各学年の別業)、年間指導計画の実質化を図る。 ・道徳の内容と各教科等の関連について検証する。 ・道徳の時間の年間指導計画の評価・振り返り欄への記入(随時)及び次年度への見直しを行う。 ②道徳教育推進教師(管理職)が全道徳科の授業参観を行う。(指導・評価・共有) ③授業者と道徳教育推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルの定着と授業の質の向上を図る。 ④意識調査の検証を踏まえた改善策の検討を行う。									
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究		◆道徳授業チェック【教師用】【児童生徒用】を3以上を目指す。 ◆公開授業研においては、広く案内をし、授業についての意見をもらう。 ◆自主研究発表会を行い、授業についての意見をもらう。				①講師招聘による授業研究2回(3年・6年)、公開授業(道徳参観日)を行う。 ②道徳授業チェックシート(教師、児童)の結果及び個人内評価に係る協議・授業改善策の検討をする。 ③学習指導案、教具、板書写真、ワークシート等の整理・保管を随時行う。 ④他校(指定校)の公開授業への参加及び先進校視察を行う。						①講師招聘による授業研究を10回行う。(1年・2年・4年・5年、内6回は、自主研究発表会における授業公開及び協議) ・道徳授業チェックシートの活用・集計・分析を行う。 ②道徳授業チェックシートの結果及び個人内評価の協議・検討を行う。 ③学習指導案、教具、板書写真、ワークシート、事後研の記録を随時行う。 ④他校(指定校)の公開授業へ参加する。									
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究		◆評価の仕方を共有する。(学期1回) ◆学期末の個人懇談及び通知表において、道徳性に係る成長の様子を保護者に伝える。				①道徳ノートを活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握(道徳教育推進チーム会で検討)、共有する。 ②評価の仕方を校内で共有し、学期末の個人懇談で保護者に伝える。						①道徳ノートを活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握、評価について協議する。(道徳教育推進チームで検討) ②評価の仕方を校内で共有、学年末の個人面談、通知表において保護者に伝える。									
家庭・地域と連携した道徳教育の推進		◆全学級公開による道徳参観日を実施し、道徳に関する保護者アンケートを取る。(出席率80%以上、道徳授業に関する肯定的評価80%以上) ◆道徳便り、学校便り、学級便りで取組や成果等について情報発信する。				①全学級道徳授業公開による「道徳参観日」を実施(5月)する。 ・「高知の道徳」を活用した懇談会を実施する。 ・保護者対象に道徳アンケートを実施しまとめ分析する。 ②「道徳便り」を定期的に発行し、授業の様子や児童の意見、「高知の道徳」等の話題を発信して、啓発を行う。						①自主公開授業研究会を実施する。(11月) ・分科会を開催し広く参観者から意見を聞く。 ・研究事項の発表(1年目)をする。 ・大学教授を招聘し、道徳教育に係る講演を聞く。 ②「道徳便り」を定期的に発行し、学校の取組、授業の様子や児童の意見、「高知の道徳」等の話題を発信して、啓発を行う。 ③四万十市研究推進実践交流会において取組内容を発表する。									

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)